

株主メモ

事業年度 毎年3月21日から翌年3月20日まで

定時株主総会 6月開催

基準日
定時株主総会 毎年3月20日
期末配当金 毎年3月20日
中間配当金 毎年9月20日

株主名簿管理人
および特別口座
の口座管理機関
東京都千代田区丸の内1丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所
大阪市中央区北浜4丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

〒168-0063
郵送物送付先
東京都杉並区和泉2丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

お問い合わせ先 0120-782-031 (フリーダイヤル)

URL <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

公告方法
当社の公告方法は電子公告により行います。
公告掲載URL <https://www.alinco.co.jp>
(ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。)

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の「特別口座について」をご確認ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていた株主様には、三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しております。上記お問い合わせ先をお願いいたします。

株主優待について

毎年3月20日現在の当社株主名簿に記載された株主様を対象としております。

保有株式数	株主様への株主優待制度	
500株以上 1,000株未満	3年未満 保有	1,000円分の商品券
	3年以上 継続保有	2,000円分の商品券
1,000株以上 5,000株未満	3年未満 保有	2,000円分の商品券
	3年以上 継続保有	3,000円分の商品券
5,000株以上 10,000株未満	3年未満 保有	4,000円分の商品券
	3年以上 継続保有	5,000円分の商品券
10,000株以上	3年未満 保有	6,000円分の商品券
	3年以上 継続保有	8,000円分の商品券

上記の商品券は三井住友カードの「VJAギフトカード」となります。

 **アルインコ株式会社**



この印刷物は、植物油インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

表紙の作品
について

表紙のイラストは、花守洗果さん作「SMILE～満開～」(パラリンアート作品)です。
※パラリンアートとは、障がい者の社会的参加と経済的自立を彼らの芸術的表現を通じて支援する一般社団法人障がい者自立推進機構です。アルインコは、「パラリンアート」を応援しております。

 **Paralym Art®**

 **アルインコ株式会社**
証券コード:5933

ALINCO
REPORT

第53期 中間報告書

2022年3月21日 >>>> 2022年9月20日

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに、第53期（2023年3月期）第2四半期の業績と通期の業績予想についてご報告申し上げます。



代表取締役会長
井上 雄策

● 当社を取り巻く経営環境について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、経済活動正常化に向けた動きが見られたものの、中国のロックダウンによるサプライチェーンの混乱、ウクライナ情勢によって拍車のかかった資源・エネルギー価格上昇や急速な円安の進行などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループの主な関連業界である建設及び住宅関連業界においては、建築着工床面積が夏場以降前年比で大幅増に転じ業界の需要動向には将来に向けた明るい兆しを感じられる一方で、建設資材の高騰が建築コストに及ぼす影響が懸念され厳しい事業環境が続いています。

当社グループにおいても、建設機材関連事業における新型足場「アルバトロス」の採用ユーザー拡大に対応した増産を進め製品の安定供給に努めるとともに、鋼材などの原材料価格上昇や急速な円安による海外からの仕入コストの上昇に対応して販売価格の値上げを行いました。また、前連結会計年度に子会社化した東電子工業(株)においては、半導体製造装置電源やアミューズメント向けにプリント配線板の受注が拡大し、電子機器関連事業の売上高拡大に寄与しました。

ニッチマーケットでトップ企業に

● 当第2四半期の連結業績について

このような状況の中、売上高は、コア事業である仮設機材の製造・販売とレンタル事業の好調に牽引され、前年同期比11.7%増の298億52百万円となりました。利益面においては、建設機材関連事業や電子機器関連事業の増収効果があったものの、原材料価格の高止まりや円安の進行による仕入コストの更なる上昇が販売価格の値上げに先行する状況が継続し、営業利益は前年同期比8.7%増の10億2百万円となりました。しかしながら、経常利益は為替予約によるヘッジ効果や外貨建資産の評価において為替差益を計上したことから前年同期比74.1%増の20億26百万円と大幅に増加し、親会社株主に帰属する四半期純利益も前年同期比63.4%増の12億22百万円となりました。



代表取締役社長
兼 社長執行役員
小林 宣夫

WEBサイトで
IR情報を発信中

当社のWEBサイトにて、2023年3月期第2四半期決算説明会資料等のIR情報をご覧いただけますのでご活用ください。

URL <https://www.alinco.co.jp/ir/index.html>



第2四半期 連結業績

(2023年3月期)

下段 前年同期比

売上高

298億52百万円

31億38百万円増 (+11.7%)

営業利益

10億02百万円

80百万円増 (+8.7%)

経常利益

20億26百万円

8億62百万円増 (+74.1%)

親会社株主に帰属する
四半期純利益

12億22百万円

4億74百万円増 (+63.4%)

EBITDA

37億30百万円

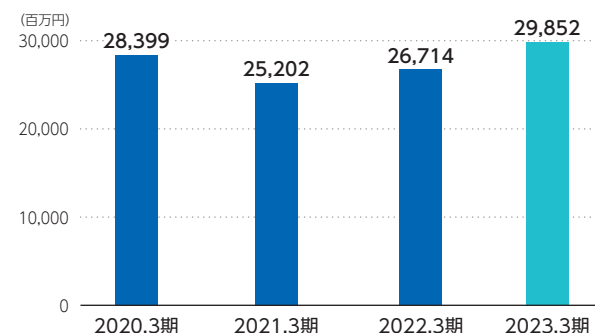
10億37百万円増 (+38.5%)

(注) EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 持分法投資損益

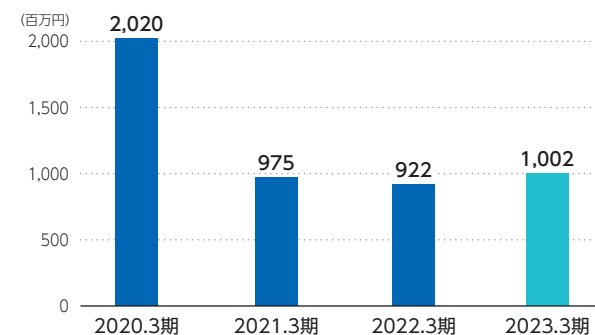
第2四半期連結業績推移

■ 第2四半期

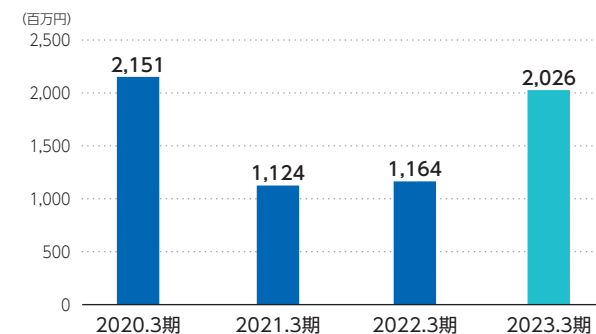
● 売上高



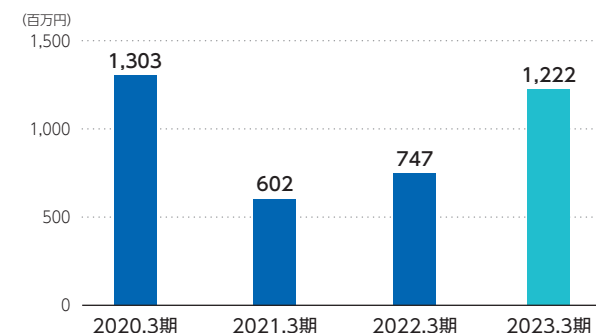
● 営業利益



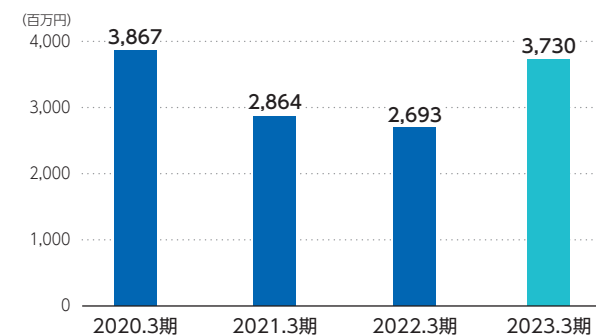
● 経常利益



● 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



● EBITDA



(注) EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 持分法投資損益

● 2023年3月期の連結業績予想について

今後の見通しについては、金融引き締めに伴う米国経済の急減速、ゼロコロナ政策継続による中国経済の下振れ、ウクライナ情勢の深刻化、冬場の電力不足による経済活動の制限、新型コロナウイルス感染拡大時の政策対応の不確実性など、景気の下振れリスクは大きいと思われま

す。このような状況の中、当社グループにおいては原材料価格の上昇や円安による海外からの仕入コスト上昇などの懸念は依然として継続しております。また、当第2四半期連結累計期間において経常利益面での改善要因となった外貨建資産の評価益などが、今後の為替相場の動向に影響を受けるものと考えております。

このような状況を踏まえ、現時点において2023年3月期通期の連結業績予想は2022年5月2日に公表しました予想数値を据え置くことといたしました。

なお、今後、市場の動向など各種情報の収集に努め、業績予想に変更が生じた場合には速やかに公表いたします。

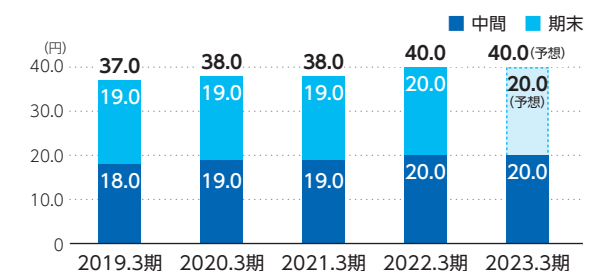
通期連結業績予想 (2023年3月期)

		(前期比増減率)
売上高	580億20百万円	5.0%
営業利益	15億40百万円	37.6%
経常利益	16億60百万円	47.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	10億10百万円	123.8%
EBITDA	50億67百万円	△4.7%

配当方針

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置付けております。剰余金の配当につきましても、安定的な配当の維持を基本方針とし、連結配当性向40%を目標として配当を実施してまいります。また、自己株式の取得につきましても、株価や経営環境の変化に対する機動的な対応や資本政策及び株主の皆様に対する利益還元策の一つとして、適宜その実施を検討してまいります。内部留保金につきましては、新型足場の市場シェア拡大に向けた投資や今後成長が見込める事業分野での積極的な新製品開発やM&Aなどに投資を行い更なる企業価値の向上を図るとともに、競争優位性の維持に必要な財務基盤の安定にも配慮してまいります。

これらの方針に基づき、当期の中間配当金は1株当たり20円といたしました。また、期末配当金についても1株当たり20円を予定し、年間配当金は、1株当たり40円を予定しております。



プライム市場へ移行

当社は、2022年4月4日をもって、東京証券取引所の新市場区分「プライム市場」に移行いたしました。

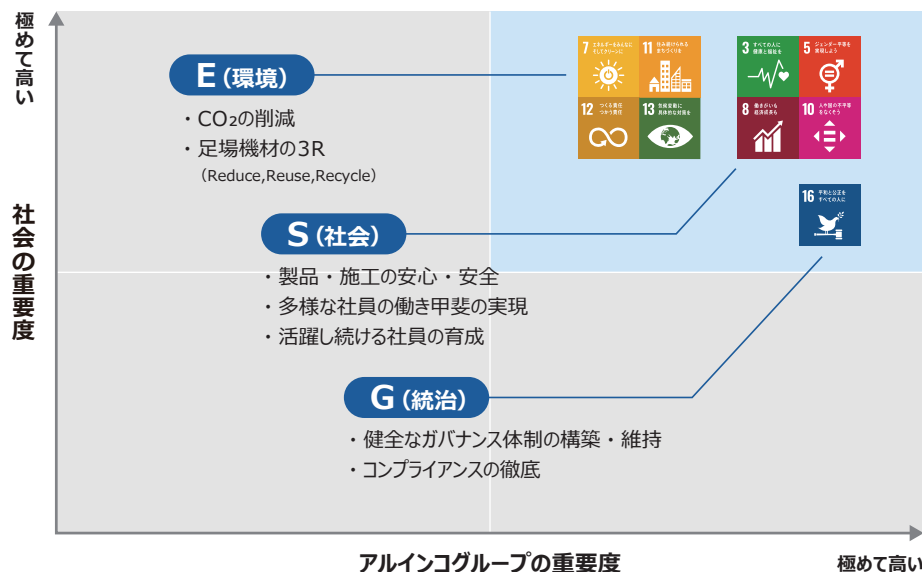
「ニッチマーケットでトップ企業に」という経営方針のもと、時代の変化に柔軟に対応した積極的な事業展開により、更なる企業価値向上を目指してまいります。



サステナビリティに関する取組み

当社グループは、経営理念である「社会に貢献」「会社の発展」「社員の成長」に基づき、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現するとともに、私たちの製品・サービスによって、持続可能な社会の実現に貢献します。

重要課題（マテリアリティ）



アルインコグループの経営理念「社会に貢献」「会社の発展」「社員の成長」

当社グループのサステナビリティに関する詳しい取組み内容は、当社WEBサイトをご覧ください。



人材育成に関する基本方針

アルインコグループは社憲において【社員の成長】を掲げ、人材育成を経営理念の中核に位置付けています。共有すべき価値観を体現し、社会の変化とニーズを的確に捉え、いかなる時も変革と成長を目指す人材の育成に取り組んでいます。

アルインコグループとして共有すべき価値観

- 熱意** どんな仕事も最大限の熱意と努力で取り組みます。
- 自律** 自ら考え、自らの言葉で伝え、自ら行動します。
- 独創** 唯一無二のアイデアと工夫を探求し続けます。
- 進化** 現状に満足せず、常に「一歩前」を目指します。
- 結集** 多様な価値観・個性を認めあい、力を集めて豊かな企業風土を作ります。
- 誠実** コンプライアンスを遵守し、社会に必要なとされる人間であり続けます。



「U15バスケットボールクリニック技術講習会」協賛

2022年7月25日・26日と2日間にわたり、おおきにアリーナ舞洲にて開催されました「U15バスケットボールクリニック技術講習会」(中学3年生が対象)に協賛をしました。このイベントはプロバスケットボールリーグ(Bリーグ)の大阪エヴェッサと(一財)大阪府バスケットボール協会が連携・協業して大阪府の子ども達に対するバスケットボールの普及・育成を目的として行われました。

イベント詳細はこちらからご覧ください。
【ご報告】U15バスケットボールクリニック技術講習会を開催しました
https://www.evessa.com/news/220801_02/



「泉大津機材センター」開業

大阪府泉大津市に「仮設リース事業部泉大津機材センター」を新たに設置し、2022年9月21日に開業いたしました。

泉大津機材センターは、大阪中心部や南大阪地域へのアクセスの良さを活かし、2025年の大阪・関西万博開催など、今後関西地区での開発需要増に向けて、新型足場「アルバトロス」を中心に「アルミ製朝顔」や「可搬式作業台」などの供給拠点として運営してまいります。

関西地区におきましては、既に「高槻機材センター」と「兵庫機材センター」の2つの機材センターを運営しております。今後は、既存機材センターと泉大津機材センターとの連携により、お客様への機材供給の効率性と利便性を高め、更なるサポート体制の強化とサービス向上を図ってまいります。



泉大津機材センターの概要

名称：仮設リース事業部 泉大津機材センター

所在地：〒595-0054 大阪府泉大津市汐見町65
TEL 050-3317-9956 FAX 050-3317-9957

敷地面積：11,114㎡(約3,363坪)

主な取扱商品：新型足場「アルバトロス」、鋼製布板、アルミ製朝顔、アルミ製開閉式布板、アルミ製作業台、アルミ製長尺足場板、アルミ製脚立、アルミ製梯子、アルミ製台車、高所作業台

営業時間：平日（月～金）8：30～17：00 ※受付時間は16：00まで

新サービス紹介

熱中症注意喚起システム「DKSF100」のレンタルサービスを開始 **ALINCO** × **sigfox**

このシステムはセンサー端末と専用アプリで構成され、熱中症の警報発信と測定データ管理が簡単にできます

センサーを取り付けるだけ、配線不要!

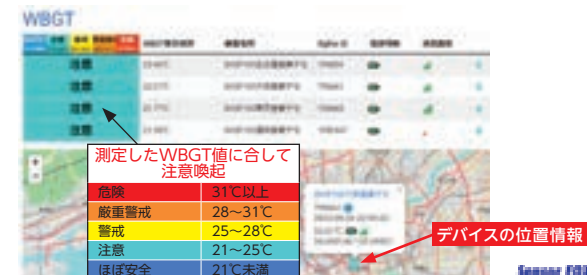


屋外の工事現場・作業場、スポーツ・レジャー施設、イベント会場、学校など、熱中症管理が必要な現場に欠かせない熱中症喚起システムDKSF100です。

- 1：センサー端末は気温、湿度、放射熱、日射を総合的に検知、温度と同じ℃単位で表されるWBGTと呼ばれる値の設定レベルになると、Eメールで予め指定しておいたアドレスにメッセージ（アラート）を送信します。
 - ・メールアドレスは最多50件まで登録できます。
 - ・WBGT値は4つ設定可能、アラートはそれぞれの値を「超えた」、「下回った」、で合計8つの発信ができます。
 - ・時間帯・曜日指定した定時レポート送信も可能です。
- 2：専用アプリはインストールしたPC、スマホ、タブレットなどのモバイルデバイスで、以下のデータを可視化、管理できます。
 - ・設置場所マップ
 - ・温度、湿度（平均化も可能）
 - ・黒球温度（WBGT値）
 - ・装置情報

“DKSF100”アプリ WBGT値遠隔監視

※画像はイメージです。変更になる可能性があります。

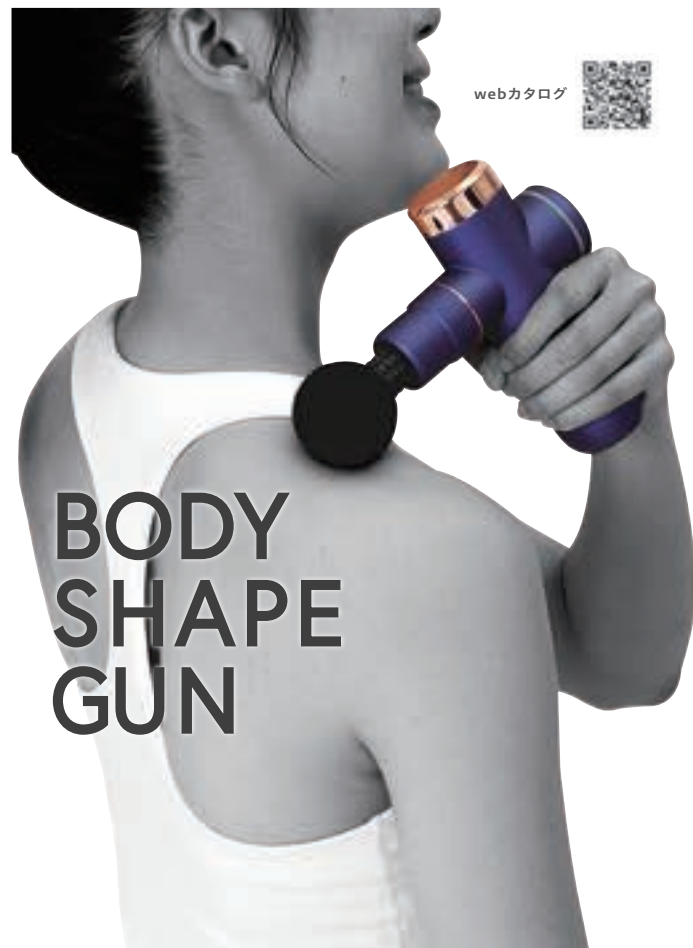


構成はセンサー端末と専用アプリだけのシンプルなもの。端末は乾電池で半年程度駆動するので商用電源は不要、設置は単管クランプやステンレスバンドでパイプ状のもの（柱、手すり、足場…）に取り付けるだけ、設定は出庫前に当社が行うので手間いらず、さらに1週間からの短期レンタルにも対応します。

通信には国内人口カバー率95%のサービスエリアを誇るLPWA（ローパワー・ワイドエリア）ネットワークのSigfox回線を使用しており、山間部や沿岸の島しょなど携帯電話が通じにくい現場にも対応できる場合がございます。

新製品紹介

ボディシェイプガン



webカタログ



コンパクトなのにパワフル刺激で
疲れたカラダをしっかりケア

約435gと軽量な本体ながら、
最大約2,800回/分のパワフルな振動が
カラダの奥深くにアプローチ。

気になる所に「さっ」と使える。
お手軽全身セルフケア

気になる二の腕から、1日頑張ったふくらはぎ・足裏まで全身に使うことができます。
仕事や家事の合間、トレーニング後など、いつでもすっきりボディケアができます。



電子機器関連事業

独自の先端技術で開発された、
グローバルブランド「ALINCO」

アマチュア無線機などホビーユーザー
向けから業務用無線機、デジタル無
線機など高い品質と技術が求められ
る分野まで、多彩な製品群で常に最
新のコミュニケーションツールを提供
しております。

建設機材関連事業

中高層建築現場で使用される
仮設機材を通じて「効率」と「安全」を提供

複雑・多様化する建設現場において、作業
者の安全と作業性をサポートする機材を取り
そろえ、様々なニーズに最適な製品を提供し
ております。

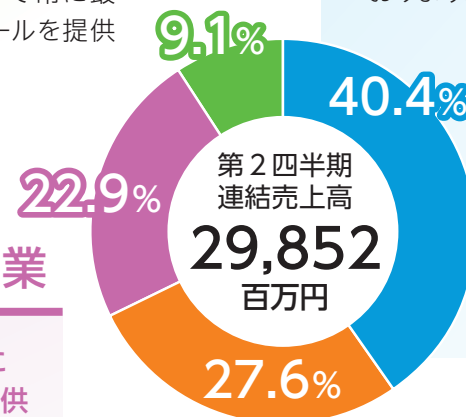
住宅機器関連事業

くらしを創るプロのために
「安全・快適・便利」を提供

工場や建築現場から家庭ま
で、幅広く作業する現場で必要
とされる昇降器具、アルミ製は
しご、脚立、三脚をはじめ関連
製品などを提供しております。

健康から癒しへ
現代人をサポート

家庭で手軽にできるエクササ
イズ製品を開発提供しており
ます。



総物流保管機器で
多様な物流保管ニーズに対応

ユーザーの幅広い物流保管機能
の要望に、商品企画からシステ
ム設計までの充実した技術力に
より、幅広い保管機器を提供し
ております。

レンタル関連事業

独自のオクトシステムで住宅足場のシェアNo.1

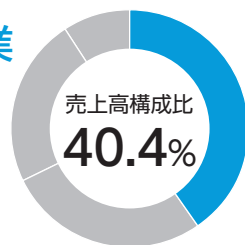
低・中層建築向けに、当社独自開発のくさび緊結式足場
(オクトシステム) の運搬・組立・解体までを一括して請け
負うサービスを提供しております。

現場の声と対話するレンタル

建築現場の環境や作業者の声に直接触れることを通して、
製品開発とマーケットとの距離の短縮を図っております。

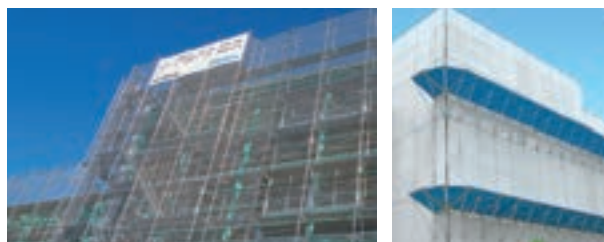
建設機材関連事業

売上高
12,068百万円
(前年同期比23.0%増)



当事業の売上高は、前年同期比23.0%増の120億68百万円となりました。建設用仮設機材の販売においては、新型足場「アルバトロス」や「SKパネル」が期初から好調に推移しました。主力製品の「アルバトロス」は既存顧客からの追加購入が着実に増加するとともに、「アルバトロス」の使用現場多様化に向けた製品開発も販売増に寄与し、前年同期比78.7%増と大幅に増加しました。

損益面では、売上高の増加に加えて、鋼材等の原材料価格上昇による在庫評価の影響や価格改定などにより、セグメント利益は前年同期比54.5%増の13億34百万円となりました。

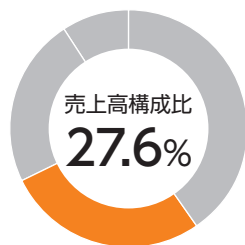


新型足場(アルバトロス)

アルミ朝顔

レンタル関連事業

売上高
8,228百万円
(前年同期比5.7%増)



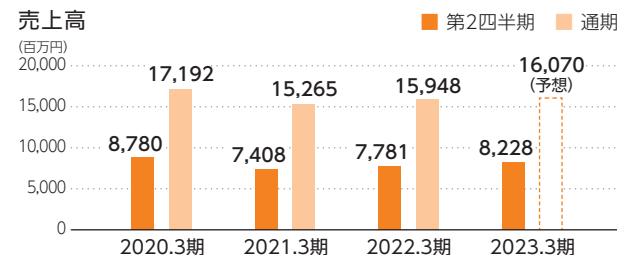
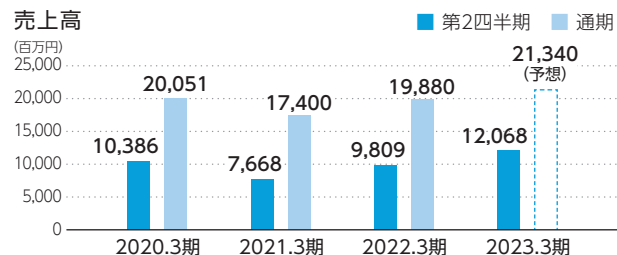
当事業の売上高は、前年同期比5.7%増の82億28百万円となりました。中高層用レンタルにおいては「アルバトロス」を中心に仮設機材の稼働率が期初から前年同期を上回って推移するなか、低層用レンタルにおいても受注が堅調に推移し、コロナ禍の影響を強く受けていたイベント向けレンタルにも回復の兆しが生じました。

損益面では、依然として厳しい価格競争のなかにあるものの、売上高の増加によってセグメント利益は前年同期比40.8%増の2億12百万円となりました。



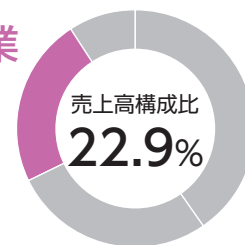
低層住宅向け仮設足場(新オクトシステム)

中高層用仮設足場



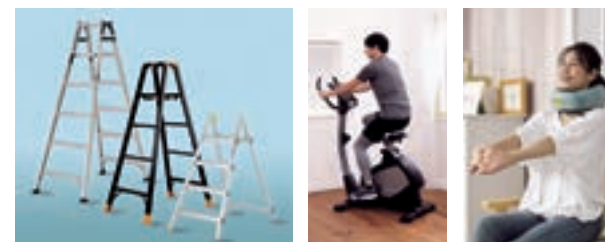
住宅機器関連事業

売上高
6,829百万円
(前年同期比7.5%減)



当事業の売上高は、前年同期比7.5%減の68億29百万円となりました。アルミ製はしごや脚立などの製品は、量販店向け、金物卸店向けともに販売が堅調であったことや、高所作業台やアルミブリッジなど子会社製品の拡販が進みました。フィットネス機器は、前連結会計年度中に準備を進めた新製品を順次発売しているものの、円安によるコスト上昇に対して実施した販売価格の値上げの影響を受けました。

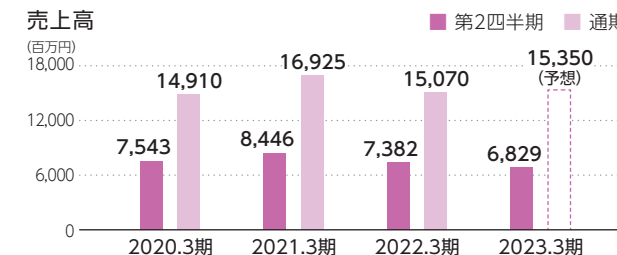
損益面では、売上高の減少と、急速な円安の進行による海外からの仕入価格上昇が価格改定の効果を上回ったため、セグメント利益は前年同期比1億30百万円減少し1億56百万円の損失となりました。



アルミ合金製脚立

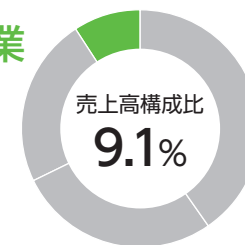
フィットネスバイク

ネックピロ-マッサージャー



電子機器関連事業

売上高
2,725百万円
(前年同期比56.6%増)



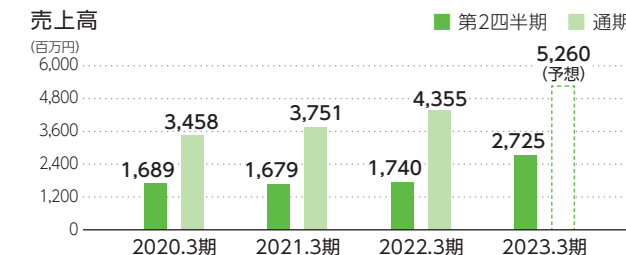
当事業の売上高は、前年同期比56.6%増の27億25百万円となりました。前連結会計年度に子会社化した東電子工業(株)の売上高が期初から寄与したことに加えて、半導体を中心とした電子部品の需給がひっ迫する中、サプライチェーンへの影響を最小限に止めることができ、特定小電力無線機や業務用無線機の販売が堅調に推移しました。

損益面では、売上高の増加によってセグメント利益は前年同期比230.6%増の1億56百万円となりました。



無線機

IoTデバイス



● 四半期連結貸借対照表 (要約)

(単位: 百万円)

科目		当第2四半期末 2022年9月20日現在	前期末 2022年3月20日現在
資産	流動資産	40,726	36,435
	固定資産	22,453	21,798
	資産合計	63,179	58,234
負債	流動負債	22,394	20,005
	固定負債	11,918	10,710
	負債合計	34,313	30,716
純資産	株主資本	27,623	26,708
	その他	1,242	809
	純資産合計	28,866	27,518
負債純資産合計		63,179	58,234

コア事業の建設用仮設機材の製造・販売などが好調に推移したことによる売上債権の増加や、計画的な生産活動による棚卸資産の増加などにより、総資産が拡大しました。

● 四半期連結損益計算書 (要約)

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期 2022年3月21日から 2022年9月20日まで	前第2四半期 2021年3月21日から 2021年9月20日まで
売上高	29,852	26,714
営業利益	1,002	922
経常利益	2,026	1,164
税金等調整前四半期純利益	2,015	1,224
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,222	747

コア事業である建設用仮設機材の製造・販売とレンタル事業の好調に牽引され、売上が好調に推移しました。また、増収効果に加え、為替予約によるヘッジ効果や外貨建資産の評価による為替差益の計上などにより、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が増加しました。

● 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期 2022年3月21日から 2022年9月20日まで	前第2四半期 2021年3月21日から 2021年9月20日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△481	1,041
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,819	△2,297
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,302	832
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,208	5,082

コア事業である建設用仮設機材における受注規模の拡大に伴い、計画的な生産活動によって棚卸資産が増加したこと(前期末比24億64百万円増)や売上債権が増加したこと(前期末比14億62百万円増)などから、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなりました。

※詳細の情報をお知りになりたい方は、当社WEBサイトをご覧ください。 URL: <https://www.alinco.co.jp/ir/index.html>

2022年9月20日現在

● 会社概要

社名 アルインコ株式会社
 英文社名 ALINCO INCORPORATED
 本店 大阪府高槻市三島江1丁目1番1号
 大阪本社 大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号
 東京本社 東京都中央区日本橋2丁目3番4号
 創業年月 1938年9月
 設立年月日 1970年7月4日
 資本金 63億6,159万円
 上場市場 東京証券取引所プライム市場
 証券コード 5933
 従業員数 (連結) 1,465名 (単体) 774名

● 役員

代表取締役会長	井上 雄策	常務執行役員	楠原 和広
代表取締役社長兼 社長執行役員	小林 宣夫	常務執行役員	小嶋 博隆
取締役兼 常務執行役員	岡本 昌敏	常務執行役員	西岡 俊浩
取締役兼 常務執行役員	坂口 豪志	上席執行役員	山本 和弘
社外取締役	水野 浩児	上席執行役員	川上 義広
取締役※	吉井 敏憲	執行役員	佐倉 広太郎
社外取締役※	野村 公平	執行役員	小土井 晃雅
社外取締役※	勘場 義明	執行役員	鶴山 伸治
		執行役員	神藤 和行
		執行役員	井上 智晶
		執行役員	鶴留 朋広

注) ※は監査等委員であります。

● 株式の状況

発行可能株式総数 35,200,000株
 発行済株式数 21,039,326株
 うち自己株式数 1,162,063株
 株主数 8,582名

● 大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
アルメイト(株)	3,153	15.87
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	1,691	8.51
アルインコ共栄会	1,401	7.05
アルインコ従業員持株会	738	3.71
井上雄策	612	3.08
井上敬策	574	2.89
(株)日本カストディ銀行 (りそな銀行再信託分・ (株)関西みらい銀行退職給付信託口)	451	2.27
SMBC日興証券(株)	399	2.01
野村信託銀行(株) (アルインコ従業員持株会専用信託口)	327	1.65
阪和興業(株)	316	1.59

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
 3. (株)日本カストディ銀行(りそな銀行再信託分・(株)関西みらい銀行退職給付信託口)の持株数451千株は、委託者である(株)関西みらい銀行が議決権の指図権を留保しております。
 4. 当社は、自己株式1,162,063株を所有しておりますが、上記の表には含めておりません。
 5. 自己株式には「信託型従業員持株インセンティブ・プラン(E-Ship®)」導入に伴い設定された「アルインコ従業員持株会専用信託口」が保有する当社株式327,600株を含んでおりません。

● 株式分布状況

